

自治の力で輝くまちをめざして

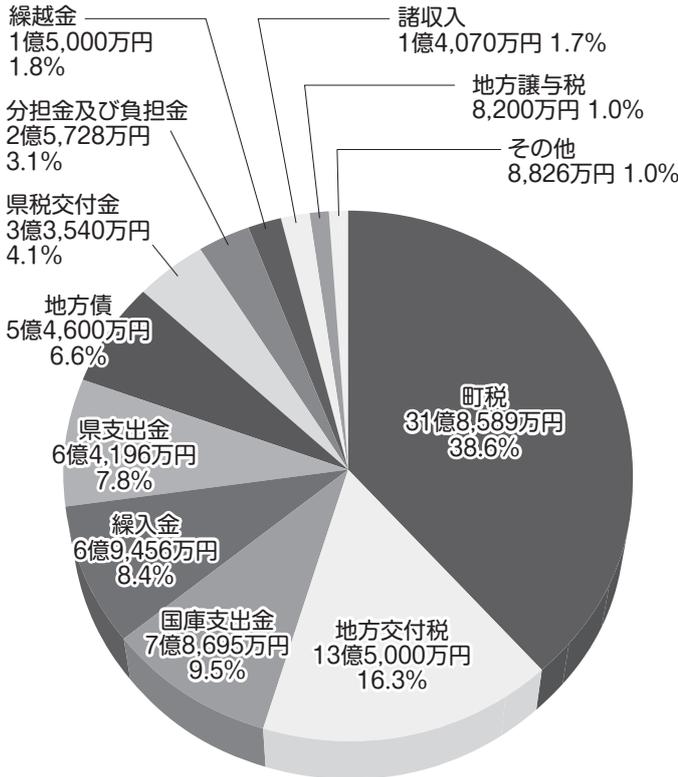
平成26年度 一般会計予算

82億5,900万円

歳入

歳入では、主に町税を31億8千589万円見込んでいます。個人町民税は昨年において依然上昇を見込める状況になかったことから減額を見込んでいます。一方、法人町民税や固定資産税は国の経済対策等による増額を見込んでおり、町税総額では、

歳入予算の構成図



前年と比べて約5,800万円の増額となっています。

地方交付税は、13億5千万円と、前年度に比べて2千万円の増額を見込んでいます。地方交付税制度は、各地域における財源の偏在を調整し、一定基準による行政需要に必要な財源を保障するために国の地方財政計画を通じて決定されるものです。近年の地方分権の推進とともに医療・介護、子育て支援などの社会保障費の増加に伴い、地方の行政需要は高まっていますが、国の交付税総額は、ほぼ同額で推移しており、町でも、それに応じた予算を計上しています。

また、今年度は、繰入金で6億9千456万円を見込んでいます。主なものは、国の経済対策により交付された「地域の元気臨時交付金」を原資にした基金（3億3千274万円）の繰入金であり、大谷公園の整備や保育所そばと園の整備、幼稚園の改修などの財源として活用しています。

～ 用 語 解 説 ～

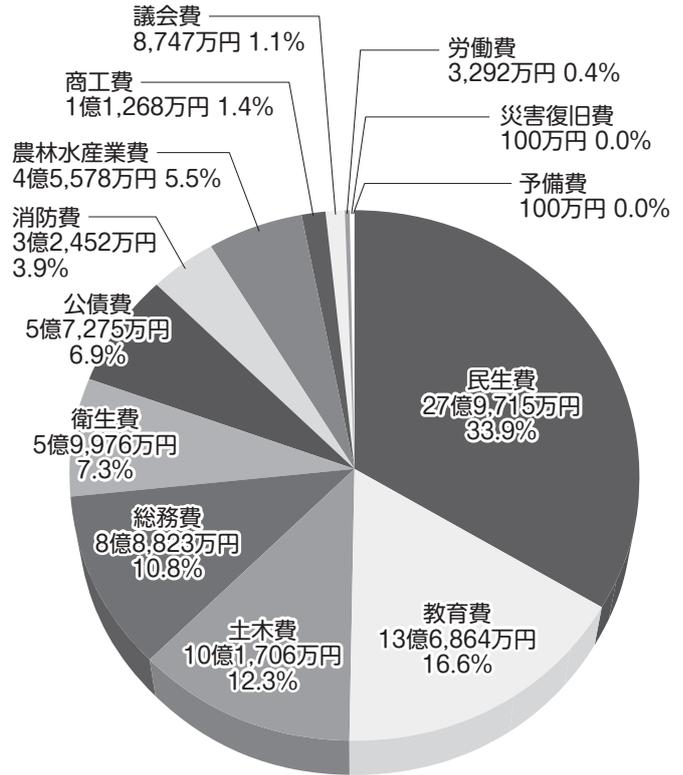
..... 歳 入

- **町税**
皆さんから町に納めていただいた、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの税金です。
- **地方交付税**
地方団体間の財源の不均衡を調整するために、国から一定の基準により交付されるお金です。
- **国庫支出金・県支出金**
国や県から交付された補助金や委託金などです。
- **地方債**
町の運営を行うために必要なお金を調達するための借入金です。
- **分担金および負担金**
行政サービスを利用した場合に、その受益の程度に応じて、受益者から納めていただくお金です。

..... 歳 出

- **民生費**
お年寄りや体の不自由な方の福祉の充実や、子育て支援のための費用です。
- **教育費**
学校教育や社会教育、文化やスポーツ発展のための費用です。
- **土木費**
道路や河川、下水道などの整備のための費用です。
- **総務費**
町の施設や財産の維持、戸籍・選挙・税金の徴収のための費用です。
- **衛生費**
予防接種や検診などの保健衛生、ゴミ処理などの環境衛生、上水道などの公衆衛生のための費用です。
- **農林水産費・商工費**
農業や商工業、観光などの発展のための費用です。

歳出予算の構成図



歳 出

歳出では、生活に身近な4分野(教育施設の整備や子育ての充実、健康増進や福祉の充実、商工業・観光・農業の産業振興、生活基盤の充実)の重点施策を定め、限られた財源を効率的にいかすよう予算編成を行っています。

具体的には、保育所こばと園整備や、福祉医療(子ども医療分)制度の拡充、中学校の教育用パソコンの更新、各小学校の施設改修など、これまで力を注いできた福祉・教育施策の充実を図ります。また、地域経済の発展のため、体験型観光や商工

平成26年度各会計予算

会 計 名	予 算 額
一 般 会 計	82億 5,900万円
国民健康保険特別会計	21億 8,117万円
簡易水道特別会計	1,314万円
公共下水道事業特別会計	8億 8,781万円
農業集落排水事業特別会計	2億 471万円
介護保険特別会計	18億 160万円
後期高齢者医療特別会計	2億 3,317万円
西山財産区会計	230万円
水道事業会計	8億 2,067万円
合 計	144億 357万円

会・商店街等の活性化への補助、日野菜等の特産農産物振興に取り組みます。あわせて、大谷公園のグラウンドゴルフ場の整備や、道路の新設改良、橋梁の長寿命化や防犯灯のLED化といった生活基盤整備に関する予算も計上しています。

さらには、平成25年に起こった台風18号の災害復旧経費や、自主防災組織の補助の充実、中学校給食室に太陽光発電を整備し、災害時の避難施設としての機能を確保するなど、防災対策の強化も図っています。

※歳出については、次のページから総合計画の基本方針ごとに分けて詳しく紹介します。



◆すべての子どもが健やかに安心して育つしくみづくりを進めます。

●公立保育所こばと園の新築整備

(7,199万円)

- ・老朽化している公立保育所こばと園を木造園舎として整備し、定員を60名から75名に増員します。
(一部平成25年度からの繰越事業)

●太陽の子増設、学童保育所の充実

(5,243万円)

- ・必佐地区学童保育所太陽の子の増設に向けた用地取得や町内の全学童保育所へのAED設置、西大路地区学童保育所への空調機器設置を行います。

●私立保育園に対する、保育費加算補助を増額

(2億2,248万円)

- ・私立保育所の運営負担金を増額します。町単独の保育費加算補助を増額するとともに、加配保育士、延長保育事業、障がい児保育、低年齢児保育などを実施するための補助も行います。また、第二わらべ保育園の開園に対する補助も実施します。

●児童虐待防止の取り組み

(194万円)

- ・子どもを虐待から守るため、児童家庭相談員等を新規に配置し、虐待防止の取り組みを強化します。

●日野町子育て・教育支援センターを中心に、子育て相談の実施

(1,722万円)

- ・「日野町子育て・教育相談センター」で発達障がいなどの早期発見、早期支援の実施や教育相談により子ども・家庭・学校(園)の支援をします。また、相談に携わる臨床心理士を増員します。

●幼稚園・小学校の施設改修の充実

(1億9,328万円)

- ・日野幼稚園の建具の改修、必佐小学校のトイレ改修および排水管改修、西大路小学校の体育館前広場の舗装、体育館(日野、必佐、桜谷)トイレの一部洋式化等の工事を実施します。

●中学校給食室に太陽光発電装置を配備・ 中学校の施設管理、改修工事の実施

(6,457万円)

- ・日野中学校給食室に太陽光発電装置を配備し、再生可能エネルギーの利用拡大と、災害時の拠点施設としての機能を確保します。

●小学校学習支援員、外国語支援員の配置

(3,666万円)

- ・小学校での児童の学習・生活支援のための学習支援員や5、6年生の外国語活動のための支援員を配置します。また、漢字検定の受験に対する助成や標準学力調査の実施、地域学習のための副読本「わたしたちの日野」の改訂を行います。

●中学校へ町独自の講師加配や教育用パソコンの更新を実施

(4,523万円)

- ・中学校の35人学級(少人数学級)の充実のため、町単独の臨時講師を配置します。また、学習支援員を配置し、英語検定の受験に対する助成や標準学力調査の実施、ICT教育の充実のため教育用パソコンを更新するなど、中学校の教育振興に取り組みます。

●子育て世帯臨時特例給付金の支給

(3,737万円)

- ・消費税率の引き上げに伴う子育て世帯への影響を緩和するため、臨時的な給付金を支給します。





基本方針

ともにいきる 安心させあいのまち

◆性別や年齢、国籍や文化、生活習慣等の違いにかかわらず、誰もが人権を尊重され、互いに認めあい、助けあい、支えあって暮らせる地域づくりを進めます。

●子どもの医療費助成を小学校3年生まで拡大 (1億6,383万円)

- ・乳幼児、重度心身障がい者、母子・父子家庭、低所得老人の方へ医療費の一部を助成します。
- 今年度から、子どもの医療費助成を拡大し、就学前までの通院医療費助成を小学校3年生までに拡大します。(一部負担500円、所得制限なしとし、10月から実施予定)

●障がいのある方が地域で安心して生活できるよう福祉サービスの給付などを実施 (4億2,412万円)

- ・障がい福祉サービスの給付や充実などにより、障がいのある方の日常生活および社会生活を総合的に支援します。

●臨時福祉給付金の支給 (8,318万円)

- ・消費税率の引き上げに伴う所得の低い方々への影響を緩和するため、臨時的な福祉給付金を支給します。

●介護分野の人材確保や高齢者の社会参加の促進 (445万円)

- ・介護職員の人材確保のため、初任者研修や資格取得への補助、地元企業の就職に向けた補助を実施します。また、高齢者が地域の中で生きがいづくりや健康づくりができるよう、社会参加の場の開拓などに取り組みます。

●介護保険特別会計へ繰出金の支出 (2億6,979万円)

- ・介護保険事業を安定して運営できるよう、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。繰出金は、介護保険の運営や介護給付、介護予防事業、高齢者の総合的な相談・サービス拠点の運営の財源として活用します。なお、介護給付額は年々増加しており、それに伴い繰出金も増加傾向にあります。



基本方針

誰もがすこやか 元気に暮らすまち

◆地域医療をまもり、健康でいきいきと暮らせるしくみづくりを進めます。

●病気や感染症を防ぐため予防接種の実施 (5,205万円)

- ・麻しん風しん混合ワクチン、BCG、四種混合、日本脳炎などの予防接種により病気や感染症を予防します。また、定期接種となったヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ヒトパピローマウイルス感染症予防ワクチン(子宮頸がん予防ワクチン)の予防接種を自己負担なしで実施します。

●がん検診や健康相談などの実施 (2,665万円)

- ・生活習慣病の予防や健康増進のため、健康診査、健康相談を実施します。また、がんの早期発見のためがん検診を実施します。

●国民健康保険特別会計へ繰出金の支出 (1億2,636万円)

- ・国民健康保険事業が安定して運営できるよう、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。繰出金は国民健康保険の医療給付や運営費、所得の低い方や失業された方への保険料の軽減や出産一時金の給付などの財源として活用します。

●後期高齢者医療の運営のため負担金や繰出金の支出 (3億1,062万円)

- ・75歳以上の方等を対象とした後期高齢者医療の運営のため、医療給付費や制度運営の負担金を支払います。また、運営事務費や所得の低い方への保険料の軽減などの財源として一般会計から特別会計へ繰出しを行います。

基本方針

安心をみんなで作くり 住みたくなるまち

◆安全で安らげる暮らしと快適で住みよいまちづくりを進めます。

●グラウンドゴルフ場の増設、大谷公園の改修工事の実施 (2億4,746万円)

・大谷公園グラウンドゴルフ場の整備、体育館前広場の改修、野球場防球ネットなどの改修工事を実施します。

●町道の改良や橋梁の長寿命化のための整備 (1億7,540万円)

・町道西大路鎌掛線、町道奥之池線の整備に向けた取り組みをします。また、町道大窪内池線の側溝改修、町道豊田中山線歩道設置や橋梁の長寿命化に向けた修繕などの工事を実施します。

●公共下水道の整備の実施 (3億1,186万円)

・下水道整備のための工事(曙、五月台、椿野台、大谷)の実施や過去に行った工事の町債の償還のため、公共下水道事業特別会計に繰出しを行います。

●台風18号の復旧経費の補助(5,500万円)

・昨年9月の台風18号により被災した地元管理の道路や農業用施設、林道の維持補修などに要する災害復旧経費として補助率を拡大して補助を行い地域の災害復旧事業を支援します。

●がけ崩れの防止対策を実施 (5,660万円)

・台風18号により被害を受けた箇所などのがけ崩れ防止のための工事や設計を実施します。また、滋賀県が実施するがけ崩れ防止工事の町負担金を支出します。

●町営バスの運行や、地方バス路線の運行補助 (5,254万円)

・日常生活の移動手段の確保のため、町営バスの運行やデマンドタクシーの試行運行を行います。また、近江鉄道バス日八線(近江八幡駅南口～日野駅～北畑口)の運行補助や、日野駅前バスロータリーの舗装改修に対する補助を行います。

●地域の自主的な防災活動へ補助 (670万円)

・地域の防災意識の啓発や防災訓練の実施、防災備蓄品の追加購入を行います。また、各集落の会議所の耐震診断費用の補助の実施や、自主防災組織活動支援補助金を増額します。

●地域防災の要となる消防団の運営 (4,690万円)

・地域における防災・消火活動に重要な役割を果たす消防団の運営に要する経費を支出します。今年度は、第一分団日野の消防ポンプ車の更新を行います。

●東近江行政組合への負担金の支出 (2億4,933万円)

・東近江行政組合(消防、救急など)の運営のため、負担金を支出します。

基本方針

自然と文化を みんなでももるまち

◆暮らしの風景をまもるとともに、自然環境の保全や環境にやさしいまちづくりを進めます。

●太陽光発電システムの助成事業の実施 (200万円)

・自然エネルギーの有効利用を促進するため、個人の住宅用太陽光発電システムの設置に対して日野町商工会商品券による助成を行うとともに地域経済の振興を図ります。

●防犯灯のLED化への補助(1,200万円)

・町が管理する防犯灯をLED化(300灯予定)します。また、自治会等が管理する防犯灯のLED化(600灯予定)に補助を実施し、省エネによる環境への負荷を減らすよう取り組みます。

●一般家庭から出るゴミの収集や、資源となるゴミの回収 (8,312万円)

・一般家庭から出るゴミの収集や資源ごみ(古紙・ビン・紙パックなど)の回収を行います。また、わたむきの里エコドームに委託して、資源ごみのリサイクル業務を実施します。今年度からエコドームのリサイクル業務に空きビン回収を追加委託します。

●中部清掃組合の運営負担金の支出(1億8,714万円)

・ゴミを処理するため、日野清掃センターや能登川清掃センターを運営する中部清掃組合に負担金を支出します。



基本方針

学びあいみんなではぐくむ自治のまち

- ◆一人ひとりの参加と学びをもとに、みんなでまちづくりを考え進めます。
- ◆住民の主体的なまちづくりを支援し、住民自治を進めます。

●小・中学校の図書室に司書派遣を増員 (983万円)

- ・小・中学校の学校図書室に図書館司書を派遣し、学校図書館の充実と利用の活発化を図ります。今年度は派遣者数を増員し(3名を4名)、町内すべての小・中学校での読書活動の充実に取り組みます。

●近江日野の歴史(絵図・要覧編)の発刊 (3,627万円)

- ・まちの歴史文化を明らかにし、後世に正しく伝えるため、日野町史の編さんを実施します。今年度は最終巻となる「近江日野の歴史(絵図・要覧編)」を発行します。

●町のホームページのリニューアル(205万円)

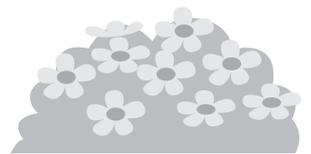
- ・町の行政情報を幅広く、迅速に提供・発信する日野町ホームページをより見やすく、わかりやすくなるよう、リニューアルします。

●地域活動を支援 (944万円)

- ・地域をよくするために、自らが学び、考え、行動する地域活動を応援します。また、コミュニティ施設の整備などを行う自治会への補助を行います。

●地区公民館の活動や施設管理の実施 (8,249万円)

- ・公民館を核としたまちづくりや地域活動の振興のため、各地区の公民館が実施する公民館活動に補助を行います。また、今年度は、必佐公民館の屋根改修や西桜谷公民館の壁改修、手すり設置などの工事を実施します。



基本方針

三方よしで未来につなぐ 楽市楽座のまち

- ◆足腰の強い地域経済の構築と地域の雇用の確保、働きやすい環境づくりを進めます。

●三方よし！近江日野田舎体験推進事業の支援 (693万円)

- ・日野町が有する地域資源を生かした経済活性化を図るため、「三方よし！近江日野田舎体験推進協議会」に委託して、農村生活体験活動民泊など体験型観光の受け入れを推進します。

●近江日野商人本宅である旧山中正吉邸の改修 (4,590万円)

- ・近江日野商人本宅である旧山中正吉邸について、全国から企業研修で訪れる方々の研修や伝統料理を食する場として活用できるよう改修します。

●有害鳥獣対策の実施 (2,370万円)

- ・農作物に甚大な被害をもたらしているサル、イノシシ、シカなどの有害鳥獣の駆除や防護柵設置への補助をおこないます。また、鹿肉などを有効利用し、有害鳥獣を資源として活用できるよう取り組みます。

●日野菜の振興などの取り組みを支援 (1,161万円)

- ・日野町の特産品である日野菜の産地ブランド化を図るため、日野菜振興や生産拡大に対して補助をします。また、野菜生産の振興のためビニールハウスの設置補助や学校給食等に供給される野菜の生産拡大に取り組みます。

●経済活性化のため、住宅リフォームへの助成 (700万円)

- ・住宅のリフォームを町内業者に依頼した方へ、日野町商工会商品券により経費の一部を助成し、地域経済の活性化を図ります。

●商工会の運営や商店街活性化のための取り組みを支援 (1,736万円)

- ・商工業の発展のため、商工会の運営に対して補助金を交付します。また、商店街活性化事業など、町内の商業振興のための補助金を交付します。